

■米国：FERCのCheryl LaFleur委員、2019年6月の退任を発表

2019年2月1日付の業界誌によると、2019年1月31日、連邦エネルギー規制委員会（FERC：Federal Energy Regulatory Commission）のCheryl LaFleur委員（民主党）が、自身のツイッターで委員を辞すと発表した。同氏は、「任期である今年の6月30日まで務めるが、それまでに後継者が決まらない場合、委員は継続することも可能である」としている。上院のエネルギー委員会の委員長によれば、Cheryl LaFleur委員や1月2日に亡くなったKevin J. McIntyreの後任候補について、まだホワイトハウスからの指名はない。LaFleur氏は、2010年にFERC委員となり、トランプ政権の初期では委員長代理も務めていたが、電力政策について上院の民主党院内総務と確執があり、再任はないと伝えられていた。